

[果樹部門]

## 10. ネギアザミウマの加害により生じる「マスカット」の果粒被害

[要約]

「マスカット」果頂部周辺の白斑を伴う褐点病は、ネギアザミウマによる果頂部への加害により生じる。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

[連絡先] 電話086-955-0543

[分類] 情報

---

[背景・ねらい]

県南の施設ブドウ「マスカット オブ アレキサンドリア」（以下「マスカット」）において、果頂部周辺に白斑症状を伴う褐点病が問題となっているため、発生原因を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「マスカット」果頂部の褐点病斑周辺には、アザミウマ類による加害と考えられる白斑症状が認められる（図1）。
2. 3月加温の「マスカット」では、白斑を伴う褐点病が硬核期後の7月上旬から発生する。この褐点病が発生する前の5月下旬～6月下旬には、ネギアザミウマが多く誘殺される（図2）。
3. 園内で発生が確認されているネギアザミウマ、チャノキイロアザミウマ及びヒラズハナアザミウマを果粒軟化期の「マスカット」果房に放虫すると、ネギアザミウマの放虫によってのみ果頂部周辺の白斑症状が再現され、褐点病が増加する（図3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本調査は、「マスカット」の3月加温ハウスで行っている。作型により褐点病の発生時期はやや異なるものの、1月加温ハウスでも同様の結果が得られている。
2. 「マスカット」以外の品種では未確認である。

[具体的データ]

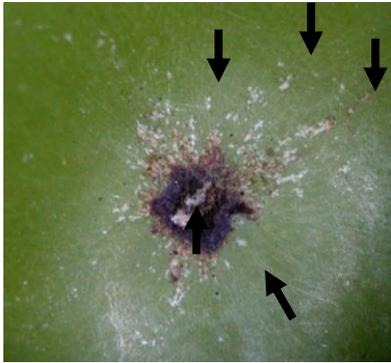


図1 ネギアザミウマの加害による果頂部周辺の白斑症状（矢印）



図3 ネギアザミウマの放虫により褐点病が発生した果房

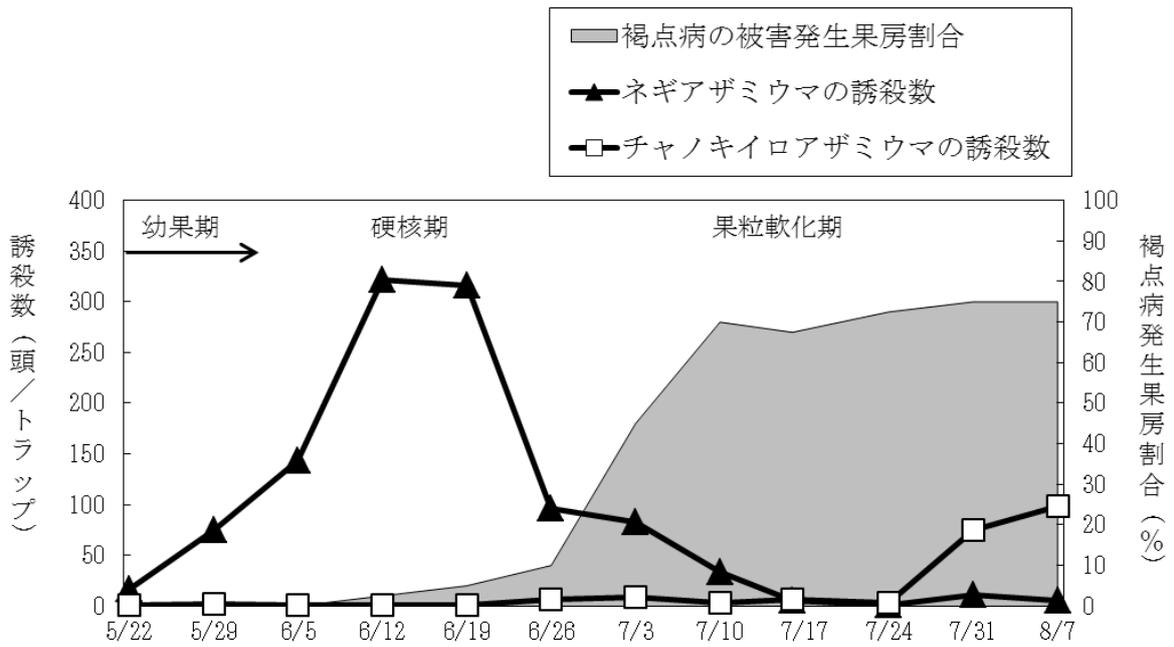


図2 アザミウマ類の誘殺数及び褐点病発生果房割合の推移（3月加温ハウス）

[その他]

研究課題名：ブドウのチャノキイロアザミウマの防除対策の確立

予算区分：交付金（難防除病虫害防除技術対策）

研究期間：2012～2013年度

研究担当者：薬師寺賢、佐野敏広、高馬浩寿

関連情報：平成26年度病虫害発生予察特殊報第1号